2024





トップメッセージ

社長あいさつ

平素は泉州電業の事業活動にご支援ご協力いただき感謝申し上げます。また、2024年 1月の能登半島地震、そしてそれに続いた夏の水害と被災された方々に対して心からお見 舞い申し上げます。さて、2024年の我々の環境活動につきましては、引き続き当社品質 環境方針に基づき着実に進めてまいりました。詳細につきましては、本冊子のデータを ご覧いただきたいと思います。

多くの国や企業、人々が、環境及び気候変動に一致した行動をとることは重要なこと であり、意義のあることだと思います。1997年の京都議定書から始まり、2007年のドイ ツのハイリゲンダム・サミットでの「2050年までに温室効果ガス排出量半減提言」、 2015年のパリ協定の「今世紀後半には温室効果ガス排出量を実質ゼロにする」まで長年 かけてまとめてこられたことが現在の活動の根本になっていることは事実です。白熱灯 からLED、ブラウン管から液晶テレビ、各種再生可能エネルギー開発、電池技術開発と ガソリン車から電気自動車への流れなどです。日本を含む先進国が発展途上国をリード することでこれらが進んでまいりました。

今回の米国の政権交代で新政権がこうしたグローバル協定から離脱することが問題と なっておりますが、気候変動の問題はまさしく歴史の転換点であることには何ら変わり はなく、大国といえども一国の事情でこの流れを止めることは出来ないと思います。

私も2025年1月にインドへ出張してまいりましたが、新興国でのCO2削減の気運は より高まってきていると感じました。中国もEV(電気自動車)で世界をリードする存 在になってきています。中国電気自動車最大手メーカーのBYDも最近更に進んだEV 車自動運転システム「天神之眼」第二弾を発表したばかりです。

我々日本企業としてもカーボンニュートラルを着実に進めていくことでグローバル企 業としての使命を果たせると思います。パリ協定では歴史上初めて各国の温室効果ガス 排出量削減目標のルール化を合意することができました。地球の気温上昇は待ったなし です。

これからは温室効果ガス削減の次のステップであるScope3に向けてグローバル企業 はその義務を果たすことになります。我々電線業界も製販一体となってCO2削減を図 っていくことになります。今年も皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

2025年3月

泉州電業株式会社 代表取締役社長 西村 元秀



品質•環境方針

地球環境問題を21世紀の重要課題とし 全員参加で環境保全活動を行い、地球環境への負荷の低減を図ります。

泉州電業 品質・環境方針

泉州電業株式会社は、全国トップの電線総合商社の責務として、 当社が販売する各種電線・ケーブル、機器用ハーネスの加工・販売、 制御盤製作・販売に関する事業活動において、以下の方針に基づき 品質向上と地球環境保全に取り組む。

- 1.品質・環境マネジメントシステムの有効性を高めるために、当社の全ての事業活動において、プロセスアプローチを重視し、継続的な改善を図る。併せて、顧客満足度の向上に努める。
- 2.当社が掲げる経営理念に基づき、内部統制システム、J-SOX法を始めとする国内外の法令、環境関連法規制、条例及び当社が同意するその他の要求事項を順守するために、必要な運用標準を定めて、定期的に評価する。
- 3.グローバル展開の強化を図る。
- 4.地球環境保全のため、資源・エネルギーの有効活用と汚染の予防に取り組む。 また、SDGs(持続可能な開発目標)を通じて、社会に貢献する。
- 5.全従業員がこの品質環境方針を理解し、実践する。
- この品質環境方針は、顧客、仕入先、地域社会を含めた外部に対して開示する。



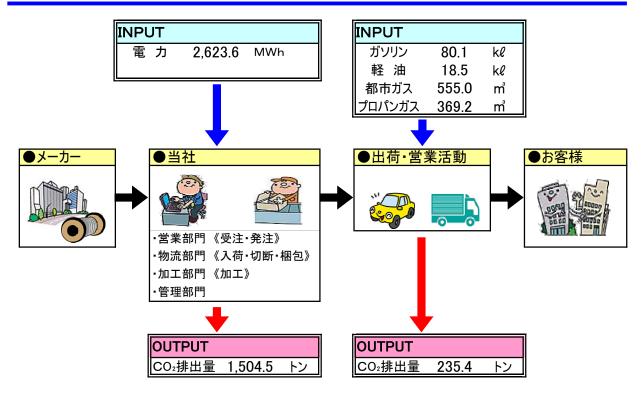
代表取締役社長 西村 元秀

2024年11月1制定



環境フローチャート (第75期実績より)

当社では、環境負荷低減のため、ライフサイクルの環境影響を把握しております。

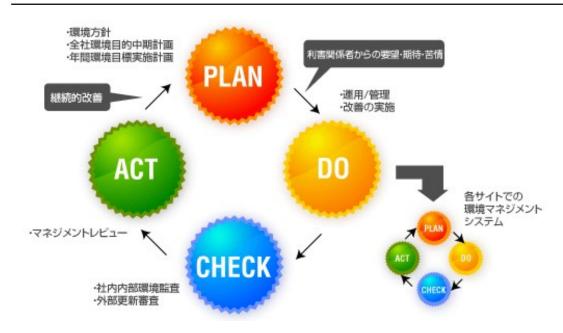




品質・環境マネジメントシステム

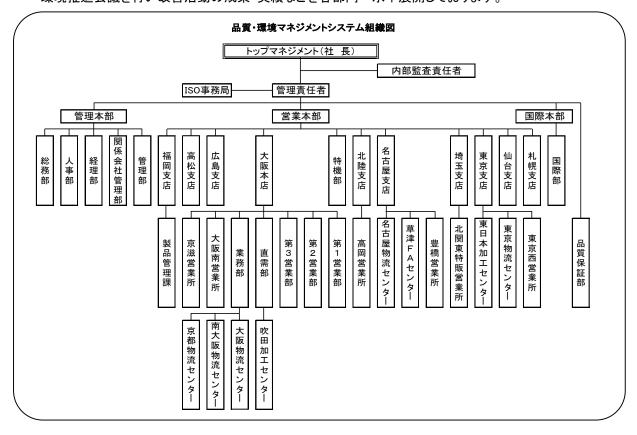
■品質・環境に配慮する仕組みの構築について

◆品質・環境マネジメントシステム



◆品質・環境マネジメントシステム組織

全社レビュー会議を設置し、当社が取り組むべき環境活動の方向性について審議・決定しています。 全社レビュー会議で決定した事項については、各拠点長が指示・展開を図ると同時に、各拠点にて 環境推進会議を行い改善活動の成果・実績などを各部門へ水平展開しております。



◆ISO14001、ISO9001 認証取得状況

登録概要	適用規格	ISO14001:2015 (JIS Q 14001:2015) ISO9001:2015 (JIS Q 9001:2015)
	審査登録機関	ペリージョンソンレジストラー(ペリージョンソンホールディング株式会社)
	認証番号	C2022-01881-R2 (環境) C2022-01880-R2 (品質)
	登録範囲	電線・ケーブル及び電気工事に関する材料並びに 機器電線加工品の販売・保管管理・入出荷業務、 機器電線加工品の製造、制御盤の組立加工
	認証取得 事業所 24事業所 (2024年 10月時点)	大阪本店、本社、STECビル、特機部、大阪物流センター、吹田加工センター、大阪南営業所、京滋営業所、札幌支店、仙台支店、東京支店、東京物流センター、埼玉支店、北関東特販営業所/東日本加工センター、東京西営業所、名古屋支店、草津FAセンター、豊橋営業所、高岡営業所、広島支店、高松支店、福岡支店、福岡支店、製品管理課、北陸支店

2004年7月23日取得 ISO14001:1996 (JIS Q 14001:1996) JETによる審査

·本店 ·仙台支店 ·名古屋支店 ·高松支店 ·埼玉営業所 ·高岡営業所

·札幌支店 ·東京支店 ·広島支店 ·福岡支店 ·豊橋営業所 ·大阪南営業所

千里加エセンター

 \blacksquare

2006年4月28日~2010年6月29日 拡大審査 ISO14001:2004 (JIS Q 14001:2004)

▼

2013年6月18日更新審査 ISO14001:2004 (JIS Q 14001:2004) SGSによる統合審査 ISO9001:2008 (JIS Q 9001:2008)



2017年3月13日~15日 ISO14001:2004(JIS Q 14001:2004) PJRによる統合審査 維持審査 ISO9001:2008(JIS Q 9001:2008)



新規格への移行

2018年3月13日~14日 ISO14001:2015 (JIS Q 14001:2015) PJRによる統合審査 移行審査 ISO9001:2015 (JIS Q 9001:2015)

■環境改善の継続的な取り組みについて

◆ISO14001の運用

ISO14001(及びISO9001)を運用するために、品質・環境マニュアルを始めとする各種標準文書を作成し、環境マネジメントシステムを元に環境保全活動を推進しております。

特に、年2回開催されるレビュー会議では、各部門の責任者が活動状況を評価し、今後に繋げるために継続的な改善を進めております。

◆内部環境監査の実施

各部門の活動が品質・環境マネジメントシステムに適合しているか、法遵守が維持されているかなどを確認するために、年1回の内部監査と定期的に各部門による品質・環境マネジメントシステムの自己チェックを実施しております。内部監査では、社内で認定された内部監査員が各部門を訪問し、品質・環境マネジメントシステムが適切に運用されているかを確認しております。なお、年に1回、審査登録機関による審査を受審し、ISO14001、ISO9001認証の更新を行っております。これら内部監査にて発見された課題については、レビュー会議などで内容を確認し、継続的に改善を行い品質問題、環境負荷の低減に向け更なるマネジメントシステムの充実を図っております。

◆環境関連法順守などの状況

環境関連の法規制、条例等を遵守する体制を整え、遵守しなければならない環境関連法規制の改正状況を把握し、遵守状況を確認しております。2024年10月期は当社において法令違反はありませんでした。今後も法規制等の遵守を徹底してまいります。

◆緊急事態への対応

自然災害や事故発生などの緊急事態に備えた訓練を各部門において年1回実施しております。 これらの訓練は、緊急事態が発生した際の対応手順に基づき行い、その結果から手順の見直し 等を行うことにより、緊急事態に対する体制の強化を図っております。

◆地球環境保全活動

地球環境保全活動の一環として、回収してNPO法人へ送り、CO₂排出量の削減に貢献しております。

(2024.10.31時点)

エコキャップ回収個数	574,317 個(累計)
CO2排出削減量	4,207 kg

- ※エコキャップ=ペットボトルのフタ
- ※CO₂排出削減量=ごみとして焼却した場合のCO₂排出量
- ▲ 当社からのエコキャップ受領個数は、NPO法人エコキャップ推進協会のホームページに掲載中です。



環境保全活動の過去3年間の推移状況

■環境保全活動について

当社では、健全な地球環境を次世代に引き継ぐために、全ての事業活動を通じて地球環境の保全と向上に努めております。当社の事業活動から発生する環境負荷を出来るだけ減少させるために、次のような環境保全活動を行っております。

- ① 地球温暖化防止(CO2排出量削減、電力使用量削減、OA用紙の使用量削減、社用車の燃費アップ)
- ② 資源の有効活用(廃棄物のリサイクル率向上)
- ③ 環境調和型商品の拡販(エコ商品の売上アップ)

これらの環境保全活動は拠点ごとに年間、月間の数値目標を設定しております。各目標の達成状況は、毎月各拠点の環境推進委員による会議で検証され、未達成の目標があった場合には、その原因の追究と改善案を検討し、翌月からの従業員一人一人の環境保全活動に反映させております。

また、改善案の結果は、後日の会議で検証し、有効性の有無の確認を行っております。これらの品質・環境マネジメントシステムのサイクルを運営し、継続的な改善をしておりましたが、今期の目標達成状況は、社用車の燃費、環境調和型商品の売上アップのみ達成となりました。ここでは過去3年間の各目標の達成状況とその自己評価をご紹介いたします。

■過去3年間の推移と自己評価

環境目標

目標値と実績値 (赤:目標値、青:実績値)

自己評価

地球温暖化 防止 (CO2排出量 の削減)



◆CO2排出量(t-CO2)



温室効果ガス(CO2)の排出量は 目標達成いたしました。 CO2排出量削減の取り組みの成 果があがっています。



※本年度から、環境省発表のCO2排出係数を使用し再計算を実施。

電力使用量 の削減



◆電力使用量(MWh)



売上高が過去最高となり、出荷量の増加、作業時間の延長、人員増などもあり、電力使用量は増加いたしました。 LED照明の導入などの省エネ活動を継続してまいります。



再生可能エネルギーの導入



◆発電量(MWh)



2024年1月1日の能登半島地震や太陽 光発電設備の故障、修理の長期化な どにより、発電量が前年の約10%減少 する結果となりました。

環境目標

目標値と実績値 (赤:目標値、青:実績値)

自己評価

OA用紙 購入量の削減



社内書類やFAXのペーパーレス化を 推進し、OA用紙の使用量を大幅に削 減し、維持することが出来ました。 引き続き、OA用紙の使用量の削減に 務めます。



社用車の 燃費アップ



ハイブリット車や小型車の導入、エコド ライブの推進により、目標を連続達成 しておりましたが、今期は未達成となり ました。

今後も引き続き、燃費の向上に取り組 んでまいります。



資源の

有効活用

(リサイクル率の

向上)



◆リサイクル率(%)



事業活動により発生する廃棄物の削 減とリサイクル率の向上に取り組みま したが未達成となりました。 引き続き、3R+を徹底します。

- ・リデュース(発生抑制) ・リユース(再使用)
- ・リサイクル(再利用)
- ・リニューアブル(再生可能)



環境調和型 商品の 売上アップ



◆環境調和型製品(百万円)



環境に配慮した商品を環境調和型商 品として販売推進に努めております。 主として、エコケーブル、ソーラーケーブル、LED関連商品です。 需要家の環境への配慮を反映し、今 期も売上が大幅に伸びております。 今後も環境調和型商品の需要が増え る事が見込まれます。





地域環境保全活動

地域保全活動の一環として、環境にやさしいまちづくりを推進していくため、当社京滋営業所は、京都府八幡市と「持続可能な環境の創造と保全に関する協定」を締結いたしました。 協定の内容

- ・公害の未然防止
- ・省エネルギーの推進
- ・再生可能エネルギーの導入
- 緑化の推進
- 美化活動の推進
- ・環境マネジメントシステム導入







環境調和型商品(工コ商品)

ABIL(アビル)ヒーター (農業ハウス向け)

新商品 「ソイルヒーター」をリリース

•IPX7防水仕様への品質向上

ヒーター端末の防水保護が必要なくなり施工が楽になります。

•価格低減

イチゴの成功事例

- 高騰するボイラー燃料費への対策
- ・脱炭素社会・SDGs への取組み
- ·収量UP / 増収
- ・収穫時期を早める

アビルヒーターを使用し、左記の 目標の達成を証明する試験を 社外のイチゴ栽培企業と共同で 実施した。

収穫量が58%増 収穫時期を早めることに成功 ボイラーの<mark>燃料費を軽減</mark>

(10°C⇒5°C)

1株あたりの月別収量比較グラフ



2025年 日本国際博覧会「TEAM EXPOパビリオン」へ展示

【共創チャレンジ名】新しい未来スマート農業で、地球環境にも人にも優しい農業を!

【ブース展示概要】期間:2025年6月6日(金)~8日(日)の3日間

場所:フューチャーライフヴィレッジ内「TEAM EXPO パビリオン」展示エリア

https://www.senden.co.ip/pdf/financer/ns 241204 a.pdf